

平成26年度第2回山口県高齢者医療懇話会会議結果

会議の名称	平成26年度第2回山口県高齢者医療懇話会
開催日時	平成27年2月5日(木) 午後1時30分～午後3時
開催場所	山口市大手町9番11号 山口県自治会館4階 山口県後期高齢者医療広域連合大会議室
会議の概要	<p>●テーマ及び主な意見</p> <p>「社会保障と税の一体改革について」</p> <p>「歯科健康診査について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会としては、後期高齢者の歯科健診は口腔機能を重視している。嚥下機能がきちんと働いているか、低下している場合にどのようなリハビリをするのかというところまでやっていきたいと考えている。 <p>「保健事業実施計画（データヘルス計画）（案）について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働いているときに生活習慣病対策を取ったか取らないか、またどんな病状を発症するリスクがあるか、ということと、後期高齢者になってからの発症との関連性は非常に強いと思うので、そのデータの連携が必要だと考える。 ・計画の中に現状の数値と、目標（「増加」「減少」等）が記載してあるが、現況として増加傾向にあるのか減少方向にあるのか分かると良い。 ・併用禁忌や重複処方ではなく、正常な投薬であっても飲み忘れ等による残薬が意外と多く、費用面で大きいと思うので、その指導をしていただきたい。 ・多受診の指導は、高齢者本人の医療の為にも良いことであり、医療費の効率化にも効果的だと思われるので、この取組を進めていただきたい。 ・山口県は高血圧性疾患にかかる医療費が全国に比べて高いようなので、この疾患についての具体的な取組を計画に入れてはどうか。 ・健康寿命が男女ともに75歳を下回っていることを考えると、健診を勧めるよりも受療形態で考えていく方が効果があるのではないかと。 ・日本の医療は他の先進国と比較すると特殊な形態を持っており、山口県はその典型と言える。目標を掲げてもツールがないと実現できない。今後、計画的に健康度を上げながら費用を効率化していくにはどうしたらよいか、県や他の保険者、医療関係者も含めて、本気で医療の実態を分析し取り組んでいく必要がある。
問合せ先	山口県後期高齢者医療広域連合事務局 TEL：083-921-7110 FAX：083-932-5321 E-mail：info@yamaguchi-kouiki.jp